

〔科目名〕 管理会計論 I		〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 選択必修			
〔担当者〕 王 聖書		〔オフィス・アワー〕 時間:授業内で案内する 場所:506 研究室		〔授業の方法〕 講義, 演習		
〔科目の概要〕 <p>管理会計は、企業の経営戦略の立案および事業計画と統制に必要な意思決定を支援するための重要な情報を提供する「情報システム」としての役割を果たしています。同時に、管理会計は情報の作成と伝達のプロセスを通じて、組織の目標達成に向けて経営管理者や一般従業員を動機づける「影響システム」としても機能します。管理会計は、数値を計算することがゴールではなく、組織全体のパフォーマンス向上と目標達成に資する戦略的なツールとして機能してこそ意味を持つのです。</p> <p>春学期には、管理会計論を学ぶうえでの基本的事項について修得します。本講義を通じて、企業の意思決定や経営管理にかかる様々な管理会計に関する概念および技法を習得することを目的とします。具体的には、管理会計と財務会計の相違、財務分析、コスト概念、利益計画、予算管理、意思決定に関する理論および分析手法について、講義、練習問題、ケースディスカッションを交えながら、実務を経験したことのない学生であっても、組織における管理会計の具体的なイメージを持てるような授業を展開します。</p>						
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 <p>事前に会計学の基本的知識を習得していること。したがって、商業簿記、工業簿記の事前履修が望ましい(すでに会計学の基礎を学習済みであれば問題ありません)。また、管理会計で学ぶ内容は多岐にわたるため、予習・復習を欠かさずに行う必要があります。</p>						
〔科目の到達目標〕 <p>当該授業を通じて、管理会計の理論と具体的手法を理解し、組織内での意思決定プロセスや経営計画において管理会計情報を効果的に活用する能力を身につけていただくことを本授業のゴールとして設定しています。</p>						
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕						
学部				学科		
DP1 ○	DP2 ○	DP3	DP4	DP1 ○	DP2	DP3 ○
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 <p>マイクの音量については、「大きいと響いて頭が痛くなる」「小さいと聞き取れない」という両方の声をいただいております。なかなか“ちょうどいい”音量のバランスを取るのが難しいです。もし聞こえづらいと感じたときは、遠慮なく前方の席に移動してもらって大丈夫です。</p>						
〔教科書〕 清水孝・庵谷治男 (2019)『基礎管理会計』中央経済社。						
〔指定図書〕 小林啓孝・伊藤嘉博・清水孝・長谷川恵一 (2017)『スタンダード管理会計-第2版-』東洋経済新報社。						
〔参考書〕 櫻井通晴(2019)『管理会計〔第七版〕』同文館						

<p><b>〔前提科目〕</b></p> <p>「工業簿記」の事前履修が望ましい。 (すでに会計学の基礎を学習済みであれば問題ありません)</p>	
<p><b>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</b></p> <p>期末テスト 100%</p>	
<p><b>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</b></p> <p>管理会計で学ぶ内容は多岐にわたるため、授業内容の復習と演習問題の解答を欠かさずに行う必要があります。講義内で示す資料や参考文献について、積極的に学習することが望ましい。</p> <p>数字を正しく計算するだけでなく、講義で紹介する資料やケースをもとに、計算の背後にあるビジネスプロセスの理解を目指していただきたい。</p>	
<p><b>〔実務経歴〕</b></p> <p>該当なし</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): ガイダンス, 管理会計の基礎知識①(管理会計の意義と目的)</p> <p>内 容: 授業全体の流れ, 評価方法, スケジュール等について説明します。管理会計の定義, 目的および意義について解説します。</p> <p>配布プリント・教科書第1章</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): 管理会計の基礎知識②(財務会計との相異, 管理会計の役割)</p> <p>内 容: 財務会計と管理会計の相異点を明らかにしたうえで, 戦略実行の支援と業績評価に対する管理会計の役割を解説します。</p> <p>配布プリント・教科書第1章</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): 財務情報分析①(財務情報分析の意義と目的, 収益性分析)</p> <p>内 容: 財務情報分析の意義と目的を明確にし, 資産利益率(ROA), 自己資本利益率(ROE)などの収益性指標を解説し, それらを経営判断に応用する方法を検討します。</p> <p>配布プリント・教科書第3章</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): 財務情報分析②(生産性分析, 安全性分析)</p> <p>内 容: 付加価値など生産性指標, 流動比率や自己資本比率など安全性指標を解説し, それらを経営判断に応用する方法を検討します。</p> <p>配布プリント・教科書第3章</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): 短期利益計画①(変動費と固定費, CVP分析の基礎)</p> <p>内 容: 変動費と固定費の分類の重要性を理解するとともに, CVP分析の基礎を解説します。</p> <p>配布プリント・教科書第4章</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): 短期利益計画②(損益分岐点, 安全余裕率, 経営レバレッジ, 多品種製品のCVP分析)</p> <p>内 容: CVP分析を通じて, 損益分岐点, 安全余裕率, 経営レバレッジ係数などを計算する方法を説明します。多品種の製品ミックスが全体の収益性に与える影響および最適な製品構成と販売戦略を策定する技術について説明します。</p> <p>配布プリント・教科書第4章</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 予算管理①(責任会計, 予算編成)</p> <p>内 容: まず, 各部門が自身の財務責任をどのように担うかについて説明します。次に, 予算の編成に焦点を当て, 具体的な予算計画の立て方と実行プロセスについて解説します。</p> <p>配布プリント・教科書第5章</p>

第 8 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 予算管理②(予算実績差異分析)</p> <p>内 容: 予算実績差異の分析方法と活用方法について説明します。</p> <p>配布プリント・教科書第5章</p>
第 9 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 前半の復習と</p> <p>内 容: 1 回から 8 回までの重要論点を演習問題で復習します。</p> <p>配布プリント</p>
第 10 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 資金・キャッシュフローマネジメント</p> <p>内 容: 資金管理の意義と目的を明らかにし, 資金運用表とキャッシュフロー計算書の作成について説明します。</p> <p>配布プリント・教科書第6章</p>
第 11 回	<p>テーマ(何を学ぶか): オペレーションの意思決定①(差額利益, 受注の可否に関する意思決定)</p> <p>内 容: 短期的意思決定に用いる差額利益および機会原価の概念を説明します。また, 受注の可否を判断する方法を解説します。</p> <p>配布プリント・教科書第 7 章</p>
第 12 回	<p>テーマ(何を学ぶか): オペレーションの意思決定②(部品の自製か購入かの意思決定, 販売か追加加工かの意思決定, セールス・ミックスの意思決定)</p> <p>内 容: 前回に引き続き, 部品の自製か購入か, 販売か追加加工か, セールス・ミックスに関する短期的意思決定について説明します。</p> <p>配布プリント・教科書第 7 章</p>
第 13 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 設備投資の意思決定①(回収期間法, 投下資本利益率法, 貨幣の時間価値)</p> <p>内 容: 投資プロジェクトの経済的価値を評価する手法として回収期間法と投下資本利益率法について説明します。貨幣の時間価値の重要性と, 各評価手法のメリットと課題について検討します。</p> <p>配布プリント・教科書第 8 章</p>
第 14 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 設備投資の意思決定②(資本コスト, 正味現在価値法, 内部利益率法)</p> <p>内 容: 資本コストを理解するとともに, 加重平均資本コストの推定方法について検討します。正味現在価値法と内部利益率法のメリットと活用上の注意点について検討します。</p> <p>配布プリント・教科書第 8 章</p>
第 15 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 期末まとめ</p> <p>内 容: 1 回から 14 回までの重要論点を復習し, 練習問題の解説を行います。</p> <p>教科書・指定図書: 配布プリント</p>
試験	<p>筆記試験を行います。試験は筆記具・電卓以外持込不可。</p>